

第1回北見市安全安心の地域づくり推進協議会設立総会会議録

日時 平成27年8月28日（金）午後2:00～2:30

会場 交通安全研修センター 2階研修室

◎出席者

・委員

太布会長、遠藤委員、佐々木委員、桜井委員、福永委員、轡田委員、遊佐委員

・事務局

滝沢市民環境部長、佐野市民環境部次長、向井市民活動課長、高久市民活動係長、小田嶋、榎森

1. 開 会

2. 副市長挨拶

3. 会長挨拶

4. 新委員紹介

事務局 ここで、前回から今回にかけまして、本協議会の構成団体で人事異動等に伴いまして委員の変更がありましたので、新委員の方をご紹介します。北見市交通安全協会様、北見消費者協会様、また、本日は欠席されていますが北見警察署交通課様に新しく委員をお願いしています。渡部副市長におかれましては他公務のためここで退席させていただきたいと存じます。

（副市長退席）

5. 議 事

事務局 それではこれより、議事に入らせていただきます。

なお、本日の協議会の議事録を市のホームページ等に公表することとなっています。委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見を頂戴したいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

議長につきましては、当推進協議会 設置要綱第6条第1項の規定により、会長が議長を務めることになっておりますので、会長に議長をお願いいたします。

会 長 それでは議事進行を進めさせていただきます。

本日の議案は資料のレジュメにありますように2件でございます。まず議案第1号「北見市内の防犯団体の活動状況に関するアンケート 結果報告」について、これは前回の設立準備会の時にこういうアンケートの報告があっても良いということでございました。ということでアンケートの結果報告をさせていただきます。事務局より説明願います。

事務局 それでは、議案1号「北見市内の防犯団体の活動状況に関するアンケート」につきまして結果報告をさせていただきます。

今回のアンケートにつきましては今年の2月の設立準備会の際に市内の防犯活動団体にアンケートで調査を行い、その結果を今後の安全安心の地域づくり推進協議会において、自主防犯団体への支援方法について参考にさせていただくために実施しました。

調査の方法等についてご説明します。今回、調査の対象団体となりましたのは、青色回転灯による防犯パトロールを行っている団体や、自主防犯パトロールを行っている団体28団体に対してアンケートを行いました。回答団体数は25団体からいただき、回答率は89.3%となっています。調査期間につきましては、平成27年5月11日から平成27年5月29日までです。調査方法につきましては、郵送によるアンケート調査として行わせていただきました。調査項目としては、大きく3つに分けてお聞きしました。1つ目は各団体の活動内容についてです。2つ目は今後の活動予定について。3つ目は団体の運営状況についてという大きな三本柱の中でお聞きしています。

具体的に調査結果としてご報告します。まず、1つ目の大きな項目の「各団体での主な活動内容等についてお聞かせください」という問いについて、「各団体での主な活動は以下のうちどれですか」とお聞きしました。

各団体の活動内容としては、パトロールが21件で全体の29%で、続いて集会等への参加による啓発活動は18件の25%、地域での声かけが16件の22%となっていました。その他の4件の6%程については、校区内での看板設置やお祭り事業等での巡回等でした。

続きまして、各活動団体の人数についてお聞きしています。各活動団体の活動人数は6人から10人が8件の33%と多く、1人から5人の4件の17%と合わせると全体の50%となります。また、31人以上の大人数で活動している団体も6件の25%ほどありました。

次に、各団体でのパトロール（巡回）活動が時間を決めて行っているかどうかをお聞きしたところ、各団体のパトロールは、不定期的時間帯が11件の52%で、決った時間帯が10件の48%とほぼ半々の割合で行っていることがわかりました。

続きまして、各団体の活動頻度についてもお聞きしています。各団体のパトロールは、ほぼ毎日と月2～3回が5件ずつ21%と同じでした。また、その他のうち、週2回、週3～4回との回答もあったことから、6割以上の団体が月に1回以上の定期的なパトロールを行っています。その際パトロールする人数ですが、60%以上の団体が複数でパトロールを行っています。

現在の活動状況のまとめとしましては、各団体10人未満という小規模な団体も多くありますが、月に1回以上のパトロールを定期的に複数人数で連携しながら行っているという状況がわかりました。

続きまして、次のページになります。大きな設問2の「各団体の今後の活動予定について」ですが、「今後の活動をどのように進めていきますか」とお聞きしたところ、各団体の今後の活動はパトロール17件の35%、各種集会参加は14件の29%、啓発活動は12件の24%と多くの団体は現在の活動を継続していく予定となっています。なお、活動を行っている団体で、活動休止を予定しているところはありません

でした。また、新規事業を検討している団体も5件と約10%ありました。

「各団体の活動を続けていく上で課題と感じていることはどのようなことですか」という設問に対しては、活動を続けていく上で課題と感じていることは、会員の確保が17件の37%と多く、資金の確保、また、地域の理解・協力を求めるものがそれぞれ10件ずつ各22%となっています。

続きまして、大きな設問3番目の「各団体の運営状況について」お尋ねしたものです。まず「運営経費はどのようにまかなわれていますか」という設問に対し、各団体の運営費は、町内会等からの負担金、会員からの会費がそれぞれ8件ずつと各25%でした。その他の内訳としまして、北見市または上部団体等からの補助金・助成金などの回答が多くありましたが、中にはボランティアのため活動資金なしで行っているという回答も3件ほどありました。

また、次の設問「活動経費の用途はどのようなものですか」に対しては、各団体のパトロールの装備に要する経費が14件の31%、啓発活動に使用する物品の経費が12件の27%、会議等の経費が11件の24%となっており、活動費の多くが装備や啓発物品等に使われていることがわかりました。

次のページになりますが、「パトロール（巡回）で不足していると感じる装備はありますか」ということで自由回答の欄を設けました。回答のあった装備等につきましては下記のとおり、青色回転灯パトロールの啓発マグネットでしたり、秋口のジャンパーや腕章、中には監視カメラという回答もありました。

続きまして「啓発活動で不足していると感じる物品等がありますか」と、こちらも自由回答での回答をお願いしました。この中では、啓発用ののぼりが不足しているところが何か所か見受けられました。その中でもチラシですとか、賛同者への入会というような地域への理解、協力を必要としているものを求めるような声も見受けられました。

最後に「今後の協議会の活動に対しての希望等がありましたらご記入ください」と自由回答としていただきました。回答があったものは下記のとおりです。「色々な団体と共に、行事など参加して、市民の方々に広めていきたい」「パトロール等が重複しない様に、地区・時間帯等を協議会で調整できれば良い」「青色回転灯の意義を市民に広報等で周知願いたい」また、「町内会ごとの65歳以上と独居老人の人数を教えてください」「参加者が高齢化し、今後の継続が難しい」「新しい会員の呼びかけをどうしたらよいか」というものや、「意見交換が必要」というものもいただきました。アンケート結果に対しましては以上の通りになります。

会 長 ただ今の議案1号についてご意見・ご質問等はございませんか。

私から、一つ質問があります。設問1-3の「パトロール時間を決めているのか」という設問に定期の時間帯と不定期の時間帯というのがありますが、これは不定期の時間帯というのはわざと不定期にしているのか、それともたまたま不定期になったのかを聞きたいと思います。

事務局 そこは、詳しくは聞いていませんでした。

会 長 不定期の方が絶対良いですね。

委 員 不定期の方が基本的には良いです。登下校中ということであれば、それは定期が良い

です。

事務局 前にお聞きしているところでは、勤務の関係とか働いている方もいますので、それで定期的な時間はなかなか設定が難しく、集まった段階でやっているとお聞きしています。

会長 他に何かご意見等はございますか。

委員 大きな設問2の2-1で「新規事業の展開を検討している」というのがありますが、この新規事業の詳細はわかりますか。

事務局 申し訳ありません。新規事業の内容につきましては、設問に設定していなく、○付けのみの回答となっています。

委員 3-5の設問「今後の協議会の活動に対しての希望等がありましたらご記入ください」のところで「町内会ごとの65歳以上の独居老人の人数を教えてください」とありますが。これは教えることは可能なのですか。

事務局 個人情報の問題があるのと、65歳以上の人数というのは住民基本台帳上のデータということになります。町内会の住所の特定と町内会エリアの特定が今のところ市の方で情報としてリンクされていない状況ですから、どこの町内会にどの方が住んでいるのかということが市の行政情報として持っていない状況です。そのためこの要望に対しては現状では難しい状況です。

事務局 内容はこれから具体的にしないといけないと思いますが、この町内会の人数だけを教えていただきたいということで、何か啓発のためにそのデータを使うようなことであれば可能かと思いますが、課長が説明したとおり個人情報に関わるものだから何か特定できるようなものの情報の提供は難しいかと思います。

委員 はい。わかりました。

会長 町内会では65歳以上は相当把握されていると思うのです。私の町内会では基本的にそういうことは把握しています。というのは敬老の日に必ずプレゼントをしますのです。そういうことで予算化もしています。ですから、町内会単位では把握されている気がするのです。ただ、マンションなどが多くなって、そういうことが把握できなくてこういう要望が出てくるということですか。

事務局 それと町内会の役員の方も持ち回りで、1年1年会長さんや事務局の方が変わられるということで、なかなか引継ぎがうまくいっていないということが事実上ございます。また、今、個人情報の関係で町内会の名簿ですとかリストを作ることも自体が難しいという状況が出てきています。これはこれから大きな課題になっていくという気がしています。

会長 よろしいですか。この協議会は、今日で終わりではございません。今後とも続いていますので、その都度また疑問に思った点を取り上げようと思います。

それでは、議案2号「今後の取り組みについて」事務局より説明願います。

事務局 それでは、続きまして議案第2号「今後の取り組みについて」ご説明させていただきます。この「議案第2号 今後の取り組みについて」ともう1枚設立準備会でもお配りしています「防犯施策展開イメージ図」も合わせてご覧ください。

イメージ図の中央にあります①の防犯活動等支援事業を基に、各事業を展開していきたいと考えています。まず、①から矢印の②の方に向けてついている部分ですけれど

も、「(仮称)安全安心まちづくり大会」ということでイメージ図の中でなっていますが、例年秋に行われています北見警察署主催の全国地域安全運動「安全安心のまちづくり in 北見」という大会を共催させていただき、今後協議会でも協力できることを協議して進めていきたいと考えています。

続きまして、矢印の③の方に向けて矢印のついている「(仮称)安全安心アカデミー(実践者実務研修)」ですが、これにつきましては防犯活動団体や町内会の防犯活動担当者等に対しまして、北見警察署のご協力のもと、今後研修を行いながら、防犯担当者の実務の育成を図っていききたいと考えています。テーマにつきましては今後協議しながら、検討し、進めていきたいと考えています。

また、最後の④に関しましては、「防犯パトロール隊の活動支援」ですが、こちらはアンケートの中のご意見にもありましたが、青色回転灯車両用のマグネットを購入して市内の防犯パトロールをしている団体に対してマグネットの配布を行い、パトロール活動の促進を行っていききたいと考えています。

また、こちらアンケートの中にもありましたが、青色防犯パトロールの意義を「広報きたみ」で啓発していききたいと考えています。青色防犯パトロール車は北見市内でもよく見かけますが、その意義について市民に周知される機会が少ないことから「広報きたみ」に記事として掲載し、自主的にこのような防犯パトロールを行っている団体があるということの周知を図りたいと考えています。また、安全安心の地域づくり推進協議会が設立されたことや、青色防犯パトロール用のマグネットを配布して防犯団体への支援を図っていることも合わせて市民周知を図りたいと考えています。

今後の取り組みについては以上になります。

会長 ただ、今後の取り組みについて事務局よりご説明がありましたが、このことについてご質問ご意見がありますでしょうか。

事務局 事務局より、この活動の内容については、前段、生活安全課長様ともお話をさせていただきながら、今年度初めて事業をしていくということもありまして、警察署の方にご協力いただいて進めたいと考えています。手探りの部分があつて大変申し訳ないと思っておりますが、なるべくアンケートの結果も含め、今後検討させていただきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

会長 先程、副市長さんからご挨拶がありましたように、実は平成21年に条例ができてこの協議会があります。ただし、防犯に関しましては地区、地域、方面ということで防犯協会というのがありまして、実は私はその長をやっておりますので、今回会長を指名されたと思うのですが、そういう形で成功して動いているものもあるのです。ですからリンクしてより重層的に良いものを作っていこうというのがこの協議会の趣旨でありまして、新たな目新しいものを取ってやるということではないと思うのですが、より重層的にやることによってより安全安心を進めていこうというのが趣旨でありますので、今日だけではなくて日頃の活動を含めて今後、この協議会に色々な意見をいただければ幸いです。その1つの会がこの設立会だにご理解いただければと思います。よろしいですか。それでは、その他、何かございますか。

委員 名簿を見ますと北見北西地域「安心、安全な地域」づくりの会が委員となっておりまして、先程のアンケートの結果を見て防犯活動団体が28団体あるようですが、これら

は例えば連絡協議会的な組織を作る動きですとか、あるいは今もう既にそういった組織があるのでしょうか。報道関係では北見北西地域「安心、安全な地域」づくりの会はよく出るのでありますが、28もそういう団体があると初めて知ったものですからその辺りを教えてください。

会 長 高栄東町にもありますし、それから北見北西地域「安心、安全な地域」づくりの会もそうですが、美芳町も早かったですね。それと他の地区にもございます。本当にこれらが各地区にあって活動されれば間違いなく良くなります。高栄東町では北小、北中管轄ですけれども、不審者がちょっと多くて、少しでもこういう活動をしますと一気に減ります。ただ、今度は不審者が防犯活動をしていない地区に行っているという話も少し聞きます。こういう活動をすることが極めて意義があるということを私自身は認識しているところでございます。皆さんにも益々ご協力いただきたいと思えます。もし、自分の町内会で防犯団体がございませでしたら、団体を作っていただくというのも一つお願いしたいと思えます。

委 員 連絡協議会的なものは無いのですね。

事務局 はい。連絡協議会的なものはありません。

会 長 それでは、本日の協議会はこれで終りとしてよろしいですか。

(全員了承)

会 長 これを持ちまして議長の任を終えます。

事務局 会長ありがとうございました。最後に事務局より次回の協議会の開催について事務連絡させていただきます。次回ですけれども、2月か3月の年度末に今年の事業報告等も含め、報告するため協議会を開催したいと思えますので、ご出席の方よろしくお願ひしたいと考えております。以上を持ちまして安全安心の地域づくり推進協議会設立総会を終了いたします。本日は大変お忙しい中ありがとうございました。